

成島出監督来場! マイベストインディペンデント映画とともに



みどり女

1986年一般公募部門入選

成島出監督の原点がここに! 衝撃の140分

緑色の性器を持つ女みどりと、彼女を愛する3人の男の物語。全体を貫く、乾いた、ストイックなトーン、4人の役者のリアリティ溢れる演技、そして映像の恐ろしいまでの緊迫感。長谷川和彦監督絶賛の8mm長編力作。



監督 成島出
1985年 140分 カラー 8mm



アメリカの影

配給: サシフィルムズ
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

インディペンデント映画の父 アメリカ映画はここから変わった

NY、マンハッタンに暮らす、黒人の血を引いたヒュー、レリア、ベンの三兄妹。白人社会の中で、それぞれに肌の色からくる疎外を体験していく様を、台本なしで演出。スコセッシ始め後進の映画監督たちに衝撃を与えた。



監督 ジョン・カサヴェテス
1959年 82分 白黒 35mm



いそげブライアン

1986年一般公募部門入選

プロレスファン必見! 観る者を高揚させる痛快作

最強のタッグ、ブライアンとチャーリーは離ればなれになり対照的な人生を歩む。その生き様を、大量のモノローグとたたみかけるイメージでバワフルに描き、PFF映写スタッフからファンクラブが発足し熱狂が拡がった伝説作。



監督 小松隆志
1985年/67分/カラー/8mm



雨女

PFFアワード1990クランプリ

毒と狂気に満ち溢れた、忘れられない衝撃作

降りしきる雨の中、他人の迷惑もかえりみず突っ走る常軌を逸した2人の女。あるときはドキュメンタリー、またあるときはB級ホラーのノリで、無為な気分と無鉄砲さが結末へ向けて転がり出す…全く先の読めない展開に誰もが驚愕!



監督 矢口史靖
1990年/72分/カラー/8mm

92年に第7回PFFスカラシップ作品『裸足のピクニック』で商業映画監督デビュー。以降『ウォーターボーイズ』(01年)、『スウィングガールズ』(04年)、『WOOD JOB!〜神去なあな日常〜』(14年)など第一線を走り続けている。

タイムテーブル *開場時間は、開演10分前を予定(初日オールナイトのみ15分前開場)

5/30Sat 22:30~5:30 *深夜興行につき、18歳未満はご入場いただけません。	オールナイト	『みどり女』140分	『アメリカの影』82分	『いそげブライアン』67分	『雨女』72分
5/31Sun 21:00~ 武蔵野美術大学映像学科 +NPO法人おおむら重山村づくり委員会(長崎県大村市)	スナメリの詩プロジェクト	『爆走高校生2』11分	『一万年後の子供』15分	『きおく きろく いま』16分	
6/1Mon 21:00~ さよなら多摩美映像学科 こんにちばたまふいるむ		『残光』40分		『襟売ってよ』40分	
6/2Tue 21:00~ 未体験ではすまされない 少女映画の金字塔		『Her Res~出会いをめぐる三分間の試問3本立て~』12分		『おとき話みたい』51分	
6/3Wed 21:00~ 大学の卒業制作がそのままメジャー公開 夢は実現する!		『狂い咲きサンダーロード』98分			
6/4Thu 21:00~ 高校生が、大学生が実現! 素晴らしい特撮の世界		『八岐之大蛇の逆襲』72分			
6/5Fri 21:00~ 人形、クレイ、画、多彩に揃いました。 PFF入選アニメーション特集	『PARALYSIS』13分	『21世紀の王様』48分	『僕ら太陽を真ん中に』15分	『舞いあがる塩』18分	『乱波』5分

チケット情報(全席指定席)

*学生証、TCG会員証は入場時にご提示ください。

*5/21,22はびあからテアトルへの販売システム切り替えの為チケット販売がございません。ご注意ください。

チケットぴあ券 前売4月25日(土) 前10時~5月20日(水)

販売場所 チケットぴあ(店舗/インターネット) Pコード
サークルK・サンクス、セブン-イレブン 554-259

オールナイト	レイトショー
一般2,500円 学2,000円	一般1,100円

*発券手数料が108円/枚かかります。またインターネット購入時は、発券手数料に加え、システム使用料216円/枚がかかります。

テアトル券 前売5月23日(土) 前0時~上映日

販売場所 テアトル新宿(劇場窓口/劇場ホームページ)

オールナイト	レイトショー
一般3,000円 学2,500円	一般1,300円 学1,000円

お得なサービスデー
サービスデー: 6月1日(月)、3日(水)は誰でも1,100円
TCG会員割引デー: 6月2日(火)、5日(金)は、TCG会員なら1,100円

テアトル新宿
03(3352)1846 www.teatru.jp
〒160-0002 東京都新宿区西新宿2-8-1

第37回PFF 開催決定!

9月12日(土)~24日(木) ※月曜休館
東京国立近代美術館フィルムセンター

発注者なしに自主的につくられるもの

この“創作物の最もピュアな人たち”が、自主映画にはあります。

自主な心、自主な視点、自主的な他者へのアプローチ。

それらの塊である自主映画を、一週間に固めてご紹介します。

自主であるということを、世界的に通用する言葉で言うなら「インディペンデント」

インディペンデント魂を持った先人たちが、数多の困難な時代にも道を切り開いて来ました。

不可能を可能にするインディペンデント。

その入門のための一週間。お楽しみください。

武蔵野美術大学映像学科・NP0法人おおもむら里山村づくり委員会(長崎県大村市) スナメリの詩プロジェクト 21:00~

5/31 Sun

爆走高校生2

監督:伊東瑞輝&伊藤晶美
2015年/11分/カラー/ビデオ

あの日の記憶のまま
少女は微笑むこの街で

男子高校生が、カメラ越しに出会った少女を追う青春自転車爆走劇。時を超え、少女の面影と風景に再会する。プロジェクト発進前のワークショップで初めてカメラを手にした地元高校生が撮り上げた切ない青春譚。

一万年後の子供

監督:廣原 暁
2015年/15分/カラー/ビデオ

子供が子供らしく遊べる
幸せが続くことを

ゲームのメダル話に湧く森の秘密基地。仲間外れの少年ショウゴは…。水田、里山、遺跡現場に子供たちの歓声が木霊する。地元小学生主演による『世界グッドモーニング!!』『HOMESICK』廣原監督最新作。

きおくきろくいま

監督:水本博之
2015年/16分/カラー/ビデオ

映像をトレースし着色し
存在の核を掴む

キリシタン大名大村氏の領土であった長崎・外海。禁教令、貧困、原爆の記憶を抱える土地で折り続ける95歳の聖女へのインタビューが、1500人の市民が描く4000枚の“いま”と融合するアニメーション作品。

ゲスト:廣原 暁監督、水本博之監督、小口詩子氏(総合プロデューサー・武蔵野美術大学映像学科)ら、「スナメリの詩プロジェクト」の皆さんが集結予定

さよなら多摩美映像学科 こんにちはたまふいるむ 青山真治&大久保賢一セレクション作品特別上映 21:00~

6/1 Mon

残光

監督:広田智大
2014年/40分/カラー/ビデオ

生と死の重なりをみつめる
明瞭で濃密な世界

多摩美上野毛から生まれた”たまふいるむ”は、演劇と映画を横断する俳優たちの質の高さと、撮影美術録音等の技術スタッフの力量を結集する。その力が最も鮮やかな形をとっている。その晴れ渡った暗さに瞳目。刮目。

襟売ってよ

監督:大河原 恵
2014年/40分/カラー/ビデオ

ユニークな文体によって
「映画」を変えた一作

「ある家族の再会の日」と聞いて、このような展開、場面、セリフを想像することは不可能だ。大河原恵の脚本演出は、細部、トータルともに無類。その個性をつぶさないことのみを”たまふいるむ”はめざした。

ゲスト:広田智大監督、大河原 恵監督、南木元 空監督、大久保賢一氏(多摩美術大学)

未体験ではつまされない 少女映画の金字塔 インターナショナルバージョン 21:00~

6/2 Tue

少女映画史に残る傑作『おとぎ話みたい』が、異例の「インターナショナルバージョン」としてテアトル新宿に帰ってくる!山戸結希が学生時代最後に監督した“少女の遺作”。その全編にきらめく卓越した言語感覚が英語字幕と一緒に踊る。更にPFF入選短編『Her Res ～出会いをめぐる三分間の試問3本立て～』特別併映も決定!

おとぎ話みたい Like A Fairy Tale

21世紀最強の少女映画を駆け抜ける

昨年12月の上映時には連日満員御礼、テアトル新宿の実写レイトショー記録を13年ぶりに塗り替えた青春映画。主人公と駆け抜ける劇場空間に共感と驚嘆が広がってゆく。「あなただけが、私の田舎でした。」

特別併映『Her Res ～出会いをめぐる三分間の試問3本立て～』
Her Res - 3 cases in which you will find me in 3 minutes
英語話者の外国の方を、是非新体験にお誘いください。

2012年/12分/カラー+白黒/ビデオ
with English subtitle

ゲスト:山戸結希監督、有馬和樹(おとぎ話)、上笠すみれ(『Her Res』出演)

大学の卒業制作がそのままメジャー公開 夢は実現する! 21:00~

6/3 Wed

1980年。そこにはいわゆるメジャーと呼ばれる映画会社の所有する映画館が、あるいは名画座があるだけ。単館は後年生まれる。学校で映画を学び、その卒業制作がそのまま劇場公開へと続く夢。そのまさかの実現を成し遂げた主演の山田辰夫が輝く驚愕のロック映画をスクリーンで! 撮影の笠松則通氏に実現への日々を伺うトークも。

監督:石井岳龍(晩互)
1980年/98分/カラー/16mm→35mmプロローアップ

日本映画史上最高に凶暴でピュア

暴走族や右翼から命を狙われながらも、権力に屈せずひとり戦い続ける特攻隊長・仁。若干22歳の監督が日大芸術学部卒業制作から東映系全国公開へ。のちの自主映画の歴史を変えることになる渾身のロック映画。

ゲスト:笠松則通氏(映画カメラマン) 『狂い咲きサンダーロード』公式サイト http://www.ishiisogo-gakuryu.com/film_j.html

高校生が、大学生が実現! 素晴らしい特撮の世界 21:00~

6/4 Thu

アマチュア映像制作集団DAICON FILMの総力を結集した大特撮大怪獣映画。山陰の地方都市・米子に駐った八本首の大怪獣「ヤマタノオロチ」と防衛隊との攻防を、自主映画とは信じがたい迫力満点の映像で描き、当時のファンの間で伝説的な存在となった。監督の赤井孝美らスタッフに加え、後に平成ガメラの特技監督として名を馳せる樋口真嗣も参加、すべてが人の手によって作り上げられた驚異のミニチュアワークは必見!

監督:赤井孝美
1985年/72分/カラー/16mm

八岐之大蛇の逆襲

DAICON FILMが贈る、自主特撮映画の金字塔。

『天元突破グレンラガン』の制作で知られるガイナックスの前身「DAICON FILM」による特撮怪獣映画。ミニチュアを駆使した八本首の「ヤマタノオロチ」と防衛隊との攻防を迫力満点に、取り巻く人々の人間模様をコミカルに描く。

『八岐之大蛇の逆襲』公式サイト http://www.gainax.co.jp/wp/archives/orochi-strikes_again/

人形、クレイ、画、多彩に揃いました。 PFF入選アニメーション特集 21:00~

6/5 Fri

長編映画、ドラマのための映画祭。いつのまにかそんなイメージが独り歩きするPFFのコンペティション部門「PFFアワード」。実のところPFFアワードは、アニメーション、実験映画、ドキュメンタリーと、何でも応募可。勿論、どんなジャンル映画もどんな長さの映画も歓迎だ。過去にはアニメーション映画祭を定期的に開催していたことを知る人は少ない昨今、近年のアニメーション入選作品の一部を御紹介し、意外な一面をお伝えする。

監督:徳山高志、元子
1992年/13分/カラー/16mm

PARALYSIS

シュールさが癖になる人形アニメーション

1人の老人が暮らす家を舞台に、ある日の出来事が矢継ぎ早に展開し、やがて宇宙的な広がりの中、様々な物体が浮遊し始める。目の前で繰り広げられるイメージの流れにただ身を任すことを経験する至福の映像体験。

監督:萩原義衛
2000年/48分/カラー/ビデオ

21世紀の王様

心躍る、元祖キモかわワールドを体感せよ!

民主主義が崩壊し“王様主義”の時代となった21世紀の御伽話。シュールで、エキセントリックな映像は萩原監督の頭の中に潜入した感覚に陥り息を呑む。アウトサイダー・アートに80年代歌謡曲が奔放的で気持ちいい。

監督:竹内義
2000年/15分/カラー/ビデオ

僕ら太陽を真ん中に

愛さずにはいられない、手のひらサイズの生命体

ごく普通のアパートで“やつら”は生まれた。正体不明の生命体が、道路を、公園を、賃貸アパートを駆け巡る、愛の人形たち。実風景の中で愛らしいキャラクターが暴れまわるクレイアニメーション。

監督:水本博之
2007年/18分/カラー/ビデオ

舞いあがる塩

巨匠ベルトルッチをも彷彿とさせる世界観を描く

砂塵が吹きすさび、空さへ褐色の世界。終わりゆく世界からの逃亡か、それとも生きるための旅なのか…。ドローイングやパベットのまじえ、精緻に作り込まれながらもざつとした肌理を見せる映像の渴きがすさまじい。

監督:中島悠喜
2014年/5分/カラー/ビデオ

乱波

息も吐かせぬ攻防! 驚嘆の忍者アニメーション

忍者が走る! 跳ぶ! 手裏剣が飛び! 腕が飛び! 首も飛び! 一瞬で明暗が決する命のやり取りの緊張感と、実写では実現不能の超絶アクション。未体験のスピード感で、忍者軍団vs忍者軍団の死闘を描いた、瞬き厳禁の5分間!

※各作品の詳細と監督のプロフィールはPFF公式サイトにて。

6月3日[水]『狂い咲きサンダーロード』
ゲスト 笠松則通カメラマンの仕事

そして、『狂い咲きサンダーロード』上映時には、笠松則通氏をお迎えします。笠松カメラマンは、日本映画大学画芸術学部映画学科で出会った石井晩互(現・岳龍)監督と共に『狂い咲きサンダーロード』『シャッフル』『爆裂都市 BURST CITY』らを撮影。その後、阪本順治監督(『大鹿村騒動記』)、松岡錠司監督(『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』)、豊田利晃監督(『青い春』)、李 相日監督(『悪人』)らの作品を手掛け、日本アカデミー賞の優秀撮影賞を5度受賞している、日本を代表するカメラマンのひとりです。トークでは、36年前の『狂い咲きサンダーロード』での逸話を伺いながら、自主映画の撮影について、客席からの質問も交え改めて考えていきます。

※作品のスタッフ&キャストなどの詳細情報、およびゲスト来場の追加情報は公式サイトで発表します。
※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが変更になる場合もございます。
※フィルム作品はプリントの状態によりデジタル上映となる場合があります。事前に公式サイトで発表します。

PFF 検索